

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-IV-8

4-IV-8

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	来訪者と地域住民との交流促進
	節 IV. ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	8 観光イベントにおける体験型コンテンツの充実	事業主体	佐渡市観光振興課
		関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市地域振興課、佐渡観光協会、佐渡連合商工会、佐渡を世界遺産にする会
事業実施期間	H28～H34		
事業概要	【事業目的】	○ 来訪者と地域住民との交流機会を設定し、佐渡ファンの獲得を図る。	
	【事業内容】	○ 観光イベントで来訪者が気軽に参加できる体験型のコンテンツ(民謡流しやワークショップ等)を充実させる。	
事業実績	【事業成果】	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡の国際観光イベント「アースセレブレーション」では、これまでコンサート中心のイベントから全島に渡って自然文化生活を体験できるアクティビティ中心のイベントへと刷新を図った。 ● 着地型ツアーとして構成資産エリア内のガイド付きまち歩きツアーの販売を行っているが、イベント時においては、イベントとコラボして告知するなど販売促進と顧客にとって多様な選択肢が得られるよう工夫している。 	
	【課題】	■ これまでのファンの期待を裏切らないようにイベントのクオリティを維持しつつ体験に誘導する工夫が必要。また、島内交通と体験を組み合わせる仕組みが必要である。	
今後の取組・課題	【今後の取組】	■ H29は体験メニューにブラッシュアップとスケジュールに合せた島内交通を確保する予定である。	
事業評価	【事業の達成度】 [a (b) ・ c]	◇ H28に行った事業の結果を踏まえ、より充実したプログラムとなるよう精査する	
	【事業実施の効果】 [a (b) ・ c]		
	【総合評価】 [A (B) ・ C]		

- a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

- A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。